

# クワシロカイガラムシ (Mulberry scale)

*Pseudaulacaspis pentagona*



メスの成虫(↑:体長2~2.5mm)  
と卵(カイガラをめくったところ)



幹についたようす

## 特徴

メス成虫と幼虫は、ロウで作られた「カイガラ」をかぶっています。オス成虫は翅はねがありますが、メス成虫は動かずにカイガラの下で卵を産みます。

卵からかえった幼虫は、短い間だけ歩きますが、しばらくすると動かなくなり、その場所で大きくなります。

## 被害と対策

木の幹や枝にくっついて、汁を吸います。発生が多いと木を枯らしてしまうことがある、恐ろしい虫です。最近、京都では発生が多く、被害が問題になっています。

多発ほ場では中切りや深刈りを行い、樹勢回復を図ります。また、多湿に弱いので、卵からかえる時期に水をまくと効果があります。